



社団法人
長崎青年協会会章
我々は會員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
會員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与することを目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人 長崎青年協会

スローガン 本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう



勝海舟



榎本武揚



今月の行事

- | | |
|----------|-----------|
| 9日 理事会 | 6月1日 厄入り |
| 17日 理事会 | A.M.6:15 |
| 24日 定時例会 | |
| 講師講演 | 4日 厄入り懇親会 |

NYA press no.179
May 1994

5

発行 長崎市魚の町7-7 会
(社)長崎青年協会 田啓伍
編集 会長 委員 会
広報委員 長 猿渡 卓

4月定時総会

去る4月27日、ホテルニュー長崎に於いて、平成6年度定時総会が開催されました。

まず、第1号議案である平成5年度事業報告について、各前年度副会長よりそれぞれ報告があり、次に、収支決算報告が前年度事務局長より、そして会計監査報告が監事により行われ、それぞれ承認されました。

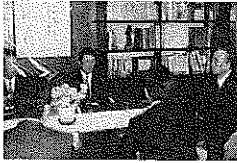
つづいて、第2号議案である平成6年度事業計画及び予算案について、事務局長より予算案が説明され、ひきつづき各委員長より事業計画（基本的活動方針）について説明があり、それぞれ満場一致で承認されました。



総会成立宣言	会員総数	94名	議長	荒内賢治君 (広報)
	出席者	60名	議事録作成人	新井正実君 (総務)
	委任状	20名	議事録署名人	森 保博君 (直前)
	総数	80名		辻丸佳憲君 (事業)
	総会成立			

表敬訪問

4月18日(月)



長崎県庁にて、高田勇長崎県知事を表敬訪問。役員の自己紹介に続き、歴代会長の紹介・事業の紹介をしました。特に桑田会長より、ふうせんバレーボールに対する後援をお願いしました。高田知事よりは、目指しておられる楽しい街づくりに、若い人の積極的な参加を求められました。

4月19日(火)



長崎市役所にて、本島等長崎市長を表敬訪問。本島市長からも、先の知事と同じく、今は行動の時代であるからと、若い人の積極的な活動を促されました。来年度に考えている新しい事業に対しても、できうる限りの援助をするとの言葉もいただきました。

「ながさきみなとまつり」

ながさきみなとまつりの実行委員会が本格的に活動を始めました。新生ながさきみなとまつりのイベント行事は、昨年まで春に行われていたながさきまつりと夏に行われていたベイフェスタ、ペーロン大会とが夏場に集中して開催されます。青年協会も留学生のバレー、子供たちの飛帆体験航海、ネットワークで行う緑日広場等の担当決めを行い、4月27日には、開港記念行事として先賢顕彰式、お魚供養、ミス長崎選彰式並びに港を考えるフォーラムが開催されました。今後、企画準備の段階で各委員会の協力が必要です。宜しくお願いします。

中島川清掃

4月24日(日)中島川公園一帯の清掃を主催の「であいの会」とともに行いました。ネットワーク市民の会の一員として青年協会も参加をしました。当日、午前10時過ぎ会長の安達征治さんが「中島川をホテルのすむ美しい川にしましょう」と挨拶した後、約百人が川の中や土手に散って空き缶や紙くずなどを拾い1時間半で用意していた200枚のごみ袋はいっぱいになりました。協会の参加人数が少なかったため、次回は、多数参加をお願いします。

事業委員会からのお願い

事業委員長 平田 雄一

昨年9月10、11日に行われました、風に想いを…『ふうせんバレーボールふれあい in ながさき』長崎大会に引き続き、今年は8月に第2回長崎大会を開催致します。

今年と同じ主管でもありますドリームハートナガサキさんたちに、今後、長崎における『ふうせんバレーボール大会』を継続していただくために、少しでも運営、進行を学んでもらい、年度末までにはドリームハートナガサキによる『ふうせんバレーボール』長崎振興委員会を本部の北九州に提案し結成する予定です。今後協会の皆さんに、いろいろと御協力をお願い致しますのでよろしくお願い致します。

委員長の抱負



総務委員長
湯藤 正典君

青年協会も入って7年になり、外側だけの協会活動をしていたが、今年は内側に目をやり定款・諸規則の見直し、各事業への参加を強くうちだしていきたい。

自分自身、今年は飛躍の年と決め協会活動から学んだ知識を十分に出し、また新たな知識を学び、自分自身の力として行こうと思っています。



例会委員長
板倉 和人君

本年は、例会委員会の委員長を承り、責任の重さを感じております。例会は月に一度皆が集う場であり、その中において会員の親睦が図られればと考えております。その為には、例会を皆んなの意見発表の場とし、多くの方の意見発表を聞くことによりより、多くの勉強もできればと思います。



広報委員長
猿渡 卓君

協会の全体事業活動は、十分に充実してきたと思いますが、反面内部の横のつながりがまだ弱いと思います。そこで広報委員会としては、会員の生の意見や企業PRを広報活動の中に組み込み会員間の相互扶助のお手伝いが出来ればと思います。



会員開発委員長
白山 光男君

理想の委員会《メンバー1人1人が共通の価値観(憲章の精神)をもって行動し、助け合いながら、各自の夢をかなえる》を目指したい。



交流委員長
松尾 浩君

青年協会憲章に盛り込まれている会員相互の親睦を元に、委員会に於いても楽しく協調できる雰囲気作り、また頭で考えるのも大事とは思いますが色々な事に積極的にチャレンジし、1年間皆と一緒にやれたという感動が持てる様に頑張りたいと思います。



研修委員長
円能寺 隆君

青年協会も25周年を過ぎ、難しいポジションになってきている状況で、内部充実の意味合いからも、研修の立場で委員会活動を考え、新たな発案で頑張る所存であります。研修委員会のメンバー1人1人が、最後にいろんな意味合いで、自分の為に有意義な1年間になるよう頑張ります。



国際開発委員長
原 喜一郎君

諸先輩方が作りあげてきました「留学生と市民」の交流を生かして、留学生と親しみ深く心に残る1年間の活動を心掛け恵まれたメンバーとともに桑田丸のもとで、思い出深い1年間を作りあげたいと思います。



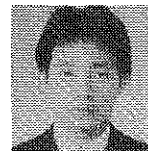
事業委員長
川原 哲也君

青年協会も25年を経過し、内部のみならず対外的にも大きな転期になっている中で、各委員の方の自由なる発想と意見がとびかう環境を作っていきたいと思います。自分自身がまず後悔しない様にして燃えつきたいと思います。



企画委員長
田中 潤介君

走(行動)・攻(主張)・守(継承)の三拍子そろった委員会活動を目指すと共に、内外の情報の受信・発信源として青年協会の高いアンテナの役目を担ってみたいと考えています。



地域事業委員長
平田 雄一君

今年の地域事業委員会は、特に『ふうせんバレーボール』を中心とし障害者の方々が長崎大会に対して、いかに自立して大会を成功に導くか、それと委員会の皆んなが、ひとつでもいいから満足感と、福祉というものに対して今後考えて行けるだけの余力をもってもらいたいと思います。『経費は小さく、気は大きく!』

皆様方の大いなる御理解・御助力、何卒ヨロシク!!

日本・ポルトガル友好450周年記念 『草の根交流』事業参加報告

1994年3月19日～28日 副会長 田川俊幸



リスボン市

結団式

3月19日(土)、徳島、大分、鹿児島、長崎各県より、都内芝パークホテルに各団員が集まり、説明会に引き続き、結団式が行なわれた。各来賓挨拶、団長挨拶、そして乾杯の後、懇親会のなかで各県の団員の自己紹介が始まった。私は、長崎グループ最年長ということでリーダーとなり、長崎とポルトガルの結びつき等を述べた後、青年協会有志より託された450個の5円玉を、各県に100個ずつ配り「ポルトガルで握手した人と、コインの交換等で役立てて下さい」と説明し、参列した来賓の方々に高く評価された。



結団式にて

いざポルトガルへ

3月20日(日)、この日は、移動の1日だった。“成田からパリ、そしてリスボンへ” 一口にいえばこれだけだが、狭い座席で13時間過ごし、途中乗換でのパリドゴール空港でコンコルドを横目に「ポルトガルは、やっぱり遠かなァ」と痛感。「450年前に生まれんで良かったばい」と、変な安心。ポーと、長い1日が暮れ、暗闇となった飛行機の窓から突然目に飛び込んできたのは、山々の頂まで広がる街灯り。港に映る船影。ポルトガルの第一印象は、「稲佐山からの夜景」であった。



リスボンでの行動

3月21日(月)、晴天、朝から近くのホテルで、ポルトガルの歴史や経済についての事情講義が行なわれた。アラビアの影響、スペインからの侵略、独立、独裁政権…。大陸のなかで、それでも国民性を失わず、現在では急速に民主化が進んでいる。経済面では貿易

ポルトガル(リスボン市)の町並

収支は赤字だが、取入は、観光1/3、移民送金1/3、EUからの補助が1/3で、全体では黒字を保っている、また、歴史では、大航海時代の繁栄当時日本に伝えた西洋文化が、日本の歴史を大きく変えた—等の講義だった。

その後、学生や公務員、銀行員等で集められたポルトガル青年26名との昼食懇談会が行なわれた。最初は、お互い堅い表情だったが、ワインの力で時間がたつにつれ、片言の英語や身振り手振りで意思の疎通を図り、日頃の生活や食物、言葉についての話題で盛り上がり楽しい時間が過ぎていった。

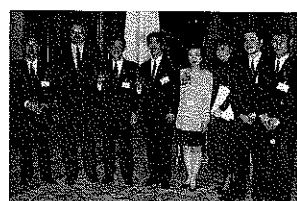
午後から、リスボン市役所とポルトガル発見記念委員会を相次いで表敬訪問した。リスボン市役所では、市岡克博駐ポルトガル日本国大使も同席してジョルジュ・サンバイオ市長不在の為、留守を預かる助役の方より市長のメッセージ代読、リスボン市が今年EUの文化都市に指定されたこと、4年後万博を開催すること等の説明があり、それに対し、我々も団長より、これからさらに友好が続くようにと挨拶して、懇談のあと次の目的地へ向った。

夕刻になっても陽射しは衰えず、バスに冷房が入れられた。この日最後の訪問地、ポルトガル発見記念委員会では、大航海時代ポルトガルが日本に到達した450年前の古い友情に思いを馳せた歓迎の挨拶が披露され、団長からも天正遣欧少年使節がポルトガルを訪れて412年、我々も同じ地に立つことを感慨深く受けとめると挨拶をまとめた。ここでも懇談時にポルトワインが出され、ホテルへ戻った団員の顔は、日焼けのせい少し赤かった。



ポルトガル青年との昼食会

長崎グループの夕食は、ポルトガルに滞在され30年、EUのスポーツ会議ポルトガル代表でリスボンで「長崎道場」をなさっている小林先生夫妻から、現地の一般的なレストランに招待していただいた。メニューは日本のどこの海岸でも見られる岩に張り付いた蟹の爪みたいな貝類(名前は判りません)をポイ



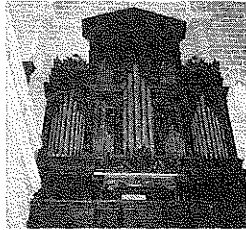
長崎団員とリスボン市役所にて

ルしたものなど新鮮なシーフードで、磯の香と塩がきいて、これがまたビールに合う。つい飲み過ぎた。
エヴォラ視察

3月22日(火)、青年協会ではこの日「卒業者を送る夕べ」が行なわれる為、朝、ホテルから事務局へ国際電話を入れメッセージを託した。昨日に引き続き晴天で、この日はリスボン郊外のエヴォラに出掛けた。1974年の革命の日になんだ名を持つ「4月25日橋」を渡り、リスボンの東へ出るとなだらかな丘陵地帯に散在するコルクの木。この景色が約2時間続きエヴォラに着いた。まず最初に、16世紀のイタリア・ルネサンス様式の建物、かつてのイエズス会神学校であったエヴォラ大学を訪問した。去年ここから、400年程前に日本にいた宣教師からの書簡等、数100点をマイクロフィルムに収め、大分県の臼杵市に送られている。それを読解するのに30年程かかるそうだ。次は、2世紀に建立されたディアナ神殿を通りセ大圣堂へ。又の名をエヴォラカテドラル。入口を入り、すぐ左上を見ると、天正の少年使節団も弾いたというパイプオルガンを見学した。さらに奥へ進み右手に入ると数十万体のしゃれこうべ等の人骨で天井や壁を埋め尽くした、まさに人骨チャペルを見学。その他駆け足でエヴォラを周り、夕刻リスボンへ向けて帰路のバスに乗った。リスボンでの夕食は昨日に引き続き小林夫人に、ファドレストランへ連れられて、哀愁漂う雰囲気、つい飲み過ぎた。



エヴォラ大学



天正遣欧少年使節が弾いたパイプオルガン

名をエヴォラカテドラル。入口を入り、すぐ左上を見ると、天正の少年使節団も弾いたというパイプオルガンを見学した。さらに奥へ進み右手に入ると数十万体のしゃれこうべ等の人骨で天井や壁を埋め尽くした、まさに人骨チャペルを見学。その他駆け足でエヴォラを周り、夕刻リスボンへ向けて帰路のバスに乗った。リスボンでの夕食は昨日に引き続き小林夫人に、ファドレストランへ連れられて、哀愁漂う雰囲気、つい飲み過ぎた。



ファドのヴォーカルの女性と
※次回は、長崎市の姉妹都市、ポルト市訪問の報告です。

＜定例研修会始まる＞

平成6年4月18日(月)
社)長崎青年協会事務局

研修委員会では、定例研修会を年8回企画しています。会員自身が一番身近に聞きたい事、勉強したい事を、会員の中のそれぞれの道のプロを講師に迎えて勉強会をしようというものです。

第1回目の定例研修会は、4月18日に、会員担当室長の永田吉朗君を講師に迎え、テーマ「決算書の見方活かし方」という題目で、講演をお願いいたしました。

小雨降る中にもかかわらず、23名の会員の出席があり、予想以上の関心の高さに、我々委員会のメンバーも驚くばかりでした。

講演の内容は、決算書の見方という難しい内容の話を大変わかりやすく説明していただきました。永田吉朗君には、この広報誌をおかりして、お礼と変えさせていただきますと思います。

これからのテーマを4月27日の定例総会において、会員の皆様にアンケートを参考資料とさせていただきます。

この後の定例研修会は、5月、6月、7月、(9月全体研修)10月、11月、1月、2月と企画しておりますので、自分が勉強したいと思うテーマの時は、気楽に勉強しにきて下さい。

なお研修会の講師をお願いする場合もあるかと思っておりますので、何卒よろしく願います。
研修委員長 円能寺 隆



△ 新 人 紹 介 △



シオタ ダイスケ
塩田 大輔 君

S 40.12.24生
28才 A型

勤務先 スナック 京 家
長崎市船大工町 6
銅座ビル 4 F

自 宅 長崎市本河内町
妻 智美 22才



マエダ テツヤ
前田 哲也 君

S 38.12. 5生
30才 A型

勤務先 自由民主党長崎県支部
長崎市江戸町7-3

自 宅 長崎市岩屋町
ご両親、第2人とお住まい



ヨシノ タダユキ
吉野 忠幸 君

S 39.10.28生
29才 A型

勤務先 宮地商事(株)
(電動工具販売)
長崎市大黒町8-3

自 宅 長崎市西坂町
独身 一人住まい

ペーロン大会出場決定

「ながさきみなとまつり」の期間中、7月31日に行われます職域対抗ペーロン大会に、青年協会も出場することになりました。合六団長より2~3回の練習を行うと言う事ですので参加希望者は、早目に団長まで連絡して下さい。

住所変更のお知らせ

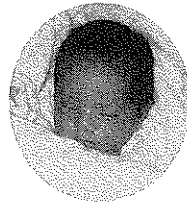
総務委員会 倉田和彦君 〒850 長崎市上戸町38-1
 ボンヌール南長崎602号 TEL 79-6514

事業委員会 上戸 実君 〒852 長崎市弁天町1-17
 丸潮ビル502号 TEL 62-8545

O B 会員 鳥井正臣 O B 〒850 長崎市ダイヤランド
 2丁目21-17 TEL 79-6515

F A X 番号追加のお知らせ
 森 保博直前会長 FAX 61-8937

こんにちは！ 赤ちゃん



パパ 円能寺 隆君
 円能寺 杏菜ちゃん 次女
 3月31日 AM3:00出産
 予定より10日間程早い
 出産で、お母さんは、
 苦労したそうです。

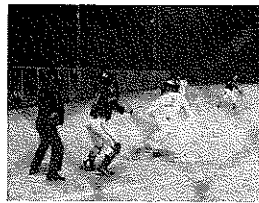


パパ 峰 章二君
 峰 穂雄くん 長男
 4月3日 AM0:59出産
 待望の第一子の出産で、
 パパもとっても大喜び
 です。

ソフトボール同好会

ソフトボール同好会は、練習不足そのままに4月24日(日)長崎商業グラウンドにてPM7:15に運命のプレイボールを迎えました。今年こそはと燃えるナインに...ああ勝利の女神はまたも微笑んではくれませんでした。詳しくは、ナインの皆様へ.....

試合に先立ち、17日(日)には松山総合運動公園にて、開会式が行なわれました。全員ユニホーム姿で、気持ちを一つに勝利を誓うはずでしたが、なななんと、出席者はたったの4名!!参加の手続きのみ済ませ、人目につかぬよう会場を後にしたのでした。まだ早朝野球の第2回戦が残っています。がんばりますので是非、応援の程宜しくお願いします。



● 甦れ！歴史人物100選 (表紙説明) ●

今月は、前回ご紹介しました坂本龍馬、陸奥宗光を長崎へ導いた勝海舟と、幕府海軍を率い函館五稜郭で官軍と戦った榎本武揚にスポットを当ててみましょう。共に海軍伝習所で学ぶため、勝が第1期生として1855年(安政2)、榎本が第2期生として1856年(安政3)に来崎しました。2人は幕府海軍の中心として活躍しましたが、江戸城無血革命を成した勝と最後まで新政府に対抗した榎本は対照的な運命を辿りました。

人物紹介

勝 海舟 (1823 文政6 ~ 1899 明治32)
 1855(安政2) 海軍伝習所一期生(伝習生監)として来崎。1860年(万延元年) 咸臨丸船長として渡米。1864年坂本龍馬とともに来崎、下関攻撃の延期について諸外国と交渉。西郷隆盛と話し合い江戸城無血革命を成した。

榎本武揚 (1836 天保7 ~ 1908 明治41)
 海軍伝習所二期生に選ばれペルスライケン、カッテンディーケらに機関学などを、ボンベに化学を学ぶ。幕府で海軍副総裁を勤め、維新後、新政府で通信・文部・外務・農商務省の各大臣を歴任した。

ゆかりの地紹介

勝海舟寓居の地
 筑後町、本蓮寺。1855年(安政2) 海軍伝習生監として長崎に着任した勝海舟は1859年(安政6)まで本蓮寺境内にあった大乘院に滞在した。

海軍伝習所跡
 江戸町、現在の県庁は奉行所西役所の跡でありここに海軍伝習所も設置され多くの伝習生が巣立っていった。